



やまつばき

令和6年度
第5号

呉市立昭和北小学校の花「やまつばき」

令和6年9月20日

夏休みが終わり、学校に子供たちの元気な声と明るい笑顔が戻ってきました。

今年の夏は、これまでにないほどの猛暑で、「暑いですね。」という言葉が、あいさつの定番となっていました。9月になってもまだまだ暑さはおさまることなく、学校では、熱中症に十分気を付けながら教育活動を行っています。

さて、呉市では、平成30年の西日本豪雨災害以降、防災教育を推進し、「自分の命は自分で守る」力の育成を進めています。昨年度からは、「防災教育の深化」とさらに進め、地域の災害リスクを踏まえた実践的な防災教育に取り組んでいます。日常生活の様々な場面で発生する災害の危険を理解し、安全な行動ができるようにするとともに、他の人々にも気配りできる児童の育成を目指しています。

このことを受け、昭和北小学校では、防災に対する知識を身に付けることはもちろんですが、実際にその身に付けた知識を活用し、自分で考えて行動することができる児童を育成することをめざした防災教育を総合的な学習の時間や生活科、特別活動の時間に位置付け、また、理科及び体育科と関連付けながら学習を進めています。

今年度は、10月31日（木）12:30～15:00までの時間で、「北小防災フェスティバル」を開催します。この「防災フェスティバル」は、これまでは学年ごとに行ってきた防災に関する学習を学年ごとに工夫して発表したり、実際に体験したりして、防災に関する学習を深めていきます。

西日本豪雨災害により、呉市は大きな被害を受けました。呉市の山間部にある焼山地区でも、河川の氾濫により、店舗に土砂が流れ込んだり、土砂崩れによる被害があったりしました。その影響で道路が遮断されるなど、生活面でも大きな影響がありました。地形的に、今後もまた同様の災害が起こりうる地域でもあります。しかし、大人からすると、ついこの前の出来事のように思いますが、災害から6年が過ぎようとしている現在の子供たちは災害の記憶が薄れ、あるいはまったく覚えていない年齢になっており、災害の風化が懸念されています。

西日本豪雨災害を風化させないために、「楽しみながら」を合言葉に学びを深め、地域と共に活動することを通して、「自分の命は自分で守る」力を育成し、子供たちの笑顔と地域の笑顔、そして教職員の笑顔を増やしていきたい。そのように考え、防災教育を進め、その成果を発表する場として、「防災フェスティバル」を開催します。学校全体での防災・減災に対する意識を高めることにより、継続的・発展的で持続可能な教育活動を目指していきます。ぜひ、ご来校いただき、子供たちの学習の成果をご覧いただくとともに、一緒に地域の防災について考える機会としていただけたら幸いです。



呉市立昭和北小学校
校長 香川隆太



「すぐーる」「tetoru」への登録ありがとうございました

「すぐーる」「tetoru」への登録では、いろいろとご面倒をおかけしましたが、無事全家庭の登録を完了しました。ご協力ありがとうございました。

今後、ペーパーレス化を進めていきたいと考えており、学校から配付するプリント類を「すぐーる」への送信にしていこう予定です。「すぐーる」でプリントを受け取りたい家族の方がおられましたら、1人のお子さんにつき4人まで登録していただくことができます。

ふれあい親子料理教室

8月6日(火)に「ふれあい親子教室」がありました。事前に申し込みをされた40人の子供たちと保護者の方々が参加し、楽しく料理を作って食べました。

今回は、防災食として「お湯ポチャオムライス」にも挑戦しました。利点としては、少ない水でできること、1人分ずつ作ることができて衛生的、食器がなくても食べられることなどがあり、大人たちも初めて作る作り方でした。おまけの「びっくりシュワッとフルーツポンチ」では、ペットボトルからサイダーが噴き出してくるという楽しい演出があり、参加したみなさんは大喜びでした。



【メニュー】

- お湯ポチャオムライス
- にんじんのリボンサラダ
- ほっこりミルクスープ
- びっくりシュワッと
フルーツポンチ



先生たちも防災食づくりに挑戦！

夏休みの校内研修で、教職員も「お湯ポチャオムライス」のような防災食づくりに挑戦しました。

教職員たちには決められたレシピではなく、用意された食材(家にありそうな食材)の中からいくつかを選び、災害時に作れそうな料理を工夫して作る研修をしました。

洗い物になるべく出ないようできるだけ少ない道具や食器でできるものや、できるだけ少ない水で作ることができるものなど、様々な状況を考えて料理をしました。教職員たちは、これまで培った知識をフル活用して手早くいろいろな料理を作りました。

研修を終えて、防災食というとあまりレトルトのものや、火を通さず食べられるものというイメージでしたが、こんなにたくさんのものが作れるのかと驚きました。

「食べる」ということは、おなかを満たすだけではなく、心も豊かにしてくれることだと思います。誰も災害に遭わないことが一番ですが、どんな時でもいろいろな工夫をして心を満たす食事ができるとういと思います。



このような食材を使って…



湯煎できるナイロン袋に入れた食材を米と一緒に炊飯器へドボン！
できるだけ少ない水で節水料理。

食器にラップやアルミホイルをかけて洗い物を減らしました。



洋楽アーティスト派遣事業ですてきな音楽にふれました



9月5日(木)に洋楽アーティスト派遣事業があり、音楽家の方たちが6年生に出前授業をしてくださいました。

子供たちは、間近でマリンバやピアノなどの生演奏を聴いて、とても感動していました。それから、楽器に関するお話を聞いたり、音楽に合わせて体を動かしたりして楽しみ、音楽に浸る有意義な時間を過ごすことができました。

